
2階に住んでる家族が掘りごたつを始めたんだが

水銀。杏

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

2階に住んでる家族が掘り「たつを始めたんだが

【著者名】

Z4685Y

【作者名】

水銀。杏

【あらすじ】

テーマは『親孝行』です。掘り「たつって憧れですよね。

(前書き)

思いついた話です！～～適当です！
少し長めですが、あつという間に読めます！

皆さんには『親孝行』をしたことがあるだらうか？

俺の家族は、両親が共働きしないと生活していくのが大変で、それなりに金に困っていた。

なのに俺は、高校も大学も私立を選んでしまった。

大学は家から電車で1時間半も掛かるが、一人暮らしへする金がないので、

実家から通つてゐる。それは仕方ないと思つた。

だが、大学2年生の10月、悲劇が起きたんだ。

二十一、國學研究，一九三四年，卷一，一九三四年，卷一。

学校が終わるのが16時なのに、電車が遅れてこんな時間になってしまった。

「ただいまー」
もちろん夕飯は食べていない。
かといって買う金がなかつた。

俺の家族は3階建てのアパートの1階に住んでいる。

ドアを開けると、カレーの匂いがした。

玄関から一番近い部屋が俺の部屋。ワクワクしながら鞄を置く。親がテーブルに俺のカレーライスを用意してくれた。

いつもひとつに椅子に座ると同時に、違和感に気付いた。

いや……、なんでリビングにきた時点で気が付かなかつたのか……

「！？」

心の中でツッこんでしまった！

どういうことだ！？なんでこんな近くに照明があるんだ！？

天井は正方形にへこんでいる。俺は、その正方形の大きさを見て、「まさか…2階の人が」

「そうよ、掘りごたつにしたみたいよ？」

お母さんは羨ましそうに言った。

いやいやいやいやいやつ！ダメだろ！？アパートだぞ！？この圧迫感やべえよ！？1階に住んでるなら分かるけど、…常識的にダメだろ！？

「2階の5人家族（父・母・長男・次男・末っ子）はバカなの？朝はなんともなかつたのに！」

「寒いのはお互い様だものねー」

「数時間で終わるつて言つてたからな、大丈夫ですつて言つたぞ」

お母さんとお父さんは、へこんだ天井を見て笑つた。
えええええええー…つて思いながら、俺はカレーライスを食べた。

今から2階の人に元に戻せつていうのは無理があるかも知れない。俺は悩んだ。もの凄く悩んだ。大学受験より悩んだ。

今度の休み、家に1年ぐらい付き合つている彼女を呼ばうと思つているのだ。

正直のところ、就職先が決まって、大学を卒業したら結婚するつもりなのに、

リビングの天井がへこんでいる家に呼んでいいものなのか…。

数日後、予定通りに彼女を呼んでしまった。

「お邪魔します」

「いらっしゃい！可愛い子ね～」

「そんなことないです／＼／＼

自然とリビングに向かい、椅子に座る。

「…」

彼女に目線が斜め上を見ているのが分かつた。

やつぱり、2階の5人家族（父・母・長男・次男・末っ子）が掘り

ごたつになつたつてことを、

言つべきだつたのだろうか…。変な空気が流れてしまつた。

「あの…お母さん、お父さん」

本題を話した。謎の圧迫感を気にしながら真剣に話した。すると、くちみからバタバタと音がする。多分子供が遊んでいるのだろう。

ピンポーン。いきなりチャイムが鳴つた。2階の人だ。

「奥さん」めんなさいねー。子供が暴れちゃつて」

「いえいえ、そういう時期ですからねー」

2階の5人家族（父・母・長男・次男・末っ子）…まじで空氣読んでくれ！

色々と騒がしかつたが、無事に結婚の許可が出た。

それから数年後。今、俺は彼女と小さいアパートに住んでいる。俺は大手会社に務めることになり、大学も卒業し、彼女と結婚、俺は金を貯めるにした。

マイホームと…もう一つ田的がある。それは親孝行だ。久しぶりにお母さんに電話をする。

「なあ、…もし」

マイホームを建てたら、一緒に住まないか？

そう言おうとしたが、彼女的に姑と住むのはアレかと思つた。

「なんだい？」

「あ、いや…。俺も、沢山貯めるよ…そうしたら、その金で…、掘りこたつ…作ってください」

それまた数か月後、掘りこたつが完成したといつ電話がきた。

それと同時に、彼女が妊娠したことを教えた。

お母さんとお父さんはとても喜んでいた。

これが、俺の親孝行の仕方だ。

(後書き)

オチが強引でしたねwwwごめんなさい！
感想・誤字等受け付けます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4685y/>

2階に住んでる家族が掘りごたつを始めたんだが

2011年11月17日18時37分発行